

【三宅先生退職記念祝賀会（旧北洋研環境学講座同窓会）】 檜垣 直幸（平2漁）

平成19年5月26日、KKRはこだてにて、40名の参加により、標記祝賀会を開催しました。



坂岡（平元）の司会にて始まった会は、柴沼（昭61）の発起人代表挨拶、川北（平3博）の乾杯の音頭の後、しばし歓談。余興は、岸本（平15）の司会による「三宅トリビア」（クイズ）で、優勝者は高橋（平12）・豊田（平12）の両名でした。賞品は、「黄金の噴火湾」「なんかすっげー貧酸素水」というラベルのワイン（写真）でした。なお、デザートとして、大西（八田）（平元）差し入れの手作り「連続式ケーキ」（写真）がふるまわれました。



その後、町谷（平19）からの花束贈呈、梶原名誉教授からの能面（翁の面）の贈呈、渡野邊（平元）からの記念品贈呈に引き続き、先生からの挨拶があり（写真）、高橋（平12）によるシメの乾杯にてひとまず宴会は終了しました。

二次会は、ホテル内の部屋で日付をまたいで行われたにもかかわらず、翌日の百周年記念行事への参加者もいたようです。

この他の同窓会員の参加者は以下の通りです。

木戸（昭51修）・山脇（昭56）・大西（平元）・庄内・大泉（平3）・大畠（平6）・柴田（平7）・安達（平11）・朝日・齋藤・（平12）・小畠（山田）（平13）・伊藤・玉井・永井（平15）・加藤（平16）・針山（平17）・Anna（平17修）・金子・小山・橋本（平18）・町谷（平19）・小原・原田・牧原（4年生）

【白野仁君（28ゾ）「北の野球物語」上梓】 山下 正徳（28ゾ）

この度、白野君は以前ここで紹介した野球書「北のプロ野球人」に続いて3冊目の「北の野球物語」を上梓した。この書は日本ハム、駒大苫高の優勝だけが北海道の野球ではないと、明治初期に札幌農学校で始まった黎明期から百三十年以上に及ぶ北海道野球の熱闘を描きノンフィクションにまとめている。

北の大地を駆け抜けた久慈次郎をはじめ、スタルヒン、若松勉など北海道が生んだ先人名選手のエピソードから、津軽の海を越え駒大苫高がもたらした深紅の優勝旗、日本ハムの日本一、それに札幌中島、円山両球場に隠された物語を貴重な写真を交え紹介している。

白野君は中学時代から甲子園を目指し、学部に入ってからも野球部で、秋の全道大会に打撃賞を取るなど学部の二連覇に貢献した。卒業後はHBCに入社し、スポーツディレクターとしてラジオで活躍、今のスポーツ放送の基礎を築いた。定年後も山と積まれた古い北海道の野球資料をもとに執筆に取り組み、今回3冊目の野球書を出版した。

「長い歴史の本道野球のルーツを探る意味でとても意義がある」「本道の偉大な野球選手を知り、誇らしい気持ちになった」などの感激が寄せられ反応はいいという。ご一読を！（A5判、370頁、1890円、北海道新聞社刊）

## 【市民公開フォーラムのご報告】入江 和彦（45 ギ）

平成 19 年 6 月 23 日に、大阪府支部は、関西の北大農学部同窓生組織の札幌農学振興会関西支会（鴨下理事長 S36 農・生）と共に、大阪府堺市の堺市立文化会館 3 階調理室および東文化会館ホールで「第三回市民公開フォーラム もっと知りたい！わが家の食育」を行いました。この市民フォーラムは、札幌農学振興会関西支会（以後、関西支会）により毎年開催されていましたが、今年は、水産も参加をという関西支会からの要請を受けて、大阪府支部との共催で行われました。

共催するにあたり、水産科学研究院原院長のご支援により、水産科学研究院のフォーラムへの後援をいただくとともに、基調講演には前同窓会幹事長の猪上先生のご紹介で、水産科学研究院教授の一色先生にお願いすることが出来ました。おかげさまでフォーラムに延べ 300 名ほどの参加者があり、成功裏に終わったことを最初に報告させていただきます。

次に、フォーラムの概略についてご報告いたします。

1 部は「つくる」、2 部は「みる・さんかする」、3 部は「まなぶ」および 4 部は「かんがえる」とした 4 部の構成で、一連の流れの中で食育について参加者とともに考えていく仕組みになっています。

1 部は堺市立文化会館 3 階調理室で「食育 親子お魚調理教室」と題して、大阪市中央卸市場の水産物卸会社・大阪魚市場（株）の食育推進・ロングブーツ隊が、魚を知る・捌く・始末するという 3S を実践指導し、親子 32 組がマルアジを捌き干物づくりを行いました。なお、同社には北大水産から多くの卒業生が入社し活躍されています。

次に、2・3・4 部は東文化会館文化ホールで実施しました。

2 部では、大阪魚市場による触れて・感じて・お魚とスキンシップができるお魚体験コーナー、日本冷凍食品検査協会・食品環境検査協会・新日本検定協会に在籍の同窓生による生きている納豆菌の観察コーナーなどあり、会場に来た子供たちの興味を大いに惹くことになりました。他にはエコ農産物・小松菜の廉売、食の安全・地産地消・食育のパネル展示などが会場ロビーで実施されました。

3 部では、最初に関西支会・鴨下理事長が「今回は水産物を中心としたフォーラムを企画し、皆さんとともに食のあり方について考えていきたい。自ら考え方を深め実践されることが不可欠で一助となれば」と挨拶された後、開催地を代表して堺市の藤原安次副市長の挨拶をいただきました。次に、一色先生による基調講演「食品安全のこれから『いただきます』を忘れずに」が行われました。先生は、全ての国民が客観的判断ができるように勉強し続ける必要があり、いただきますの心を忘れないことが重要ではないかと提言されました。

4 部はパネルディスカッション「かんがえよう、みんなが食育を」として、コーディネーターに小野雅之氏（神戸大大学院教授・関西支会会員 S53 農・経）、パネリストは石原奈津子氏（おいしいハート代表・日本食育コミュニケーション協会代表）、太田雅士氏（日本食育者協会）、山口利昭氏（（株）サンプラザ社長・関西支会会員 S39 農・経）、柳谷正義氏（大阪魚市場（株）食育推進委員）、一色先生により行われ、「まず、身近な生活の中から食育の取組を始めては」との考えがまとめられました。

ディスカッション終了後、共催者としてフォーラム閉会の挨拶を入江が行い無事終了となりました。

今後も、大阪府支部としては関西支会とのフォーラム共催を実施してゆくことを考えています。原院長はじめ北水同窓会本部の皆様方のご指導ご鞭撻を宜しくお願ひいたします。

また、フォーラムが成功した大きな理由として、フォーラム事務局長の田中氏（S50 食）を始め、事務局の皆様の力があったことを報告させていただきます。

最後に、フォーラム事務局の支部会員と出席された水産の同窓生を報告させていただきます。

（フォーラム事務局及び出席者）吉沢和夫（S26 増）、井上忠雄（S35 製）、田中 隆（S35 製）、藤井 明（S36 製）、大野正浩（S36 製）、深谷 勲（S36 製）、吉田宣雄（S38 漁）、米谷考治（S44 製）、久保田幸一（S45 化）、入江和彦（S45 漁）、田中文夫（S50 食）、佐々木謙（S50 食）、中村 誠（S51 食）、大村泰治（S51 食）、北出 弘（S52 漁）、福間浩一（S55 漁）、石田浩平（S54 食）、佐々木雅人（S56 化）、北林考也（S56 化）、山田淳一郎（S56 漁）、楠山仁志（S59 漁）、滝澤和宏（S60 化）、中田邦彦（S61 食）、村田泰克（S62 漁）、井上英樹（H2 漁）、川邊一郎（H3 増）、新瀬幾恵（H7 増）、梅田教生（H7 食）、松崎孝典（H7 化）、佐竹 基（H11 化）、大西寛明（H12 資）、山田大介（H12 資）、藤原匠逸（H13 生産）、宇野（旧姓：弓場）陽子（H17 生産）

## 【第 16 回 臥牛会函館大会を終えて】高橋 大 (24 セ)

臥牛会の会員である M A S T の会の三名(森君夫妻死亡のため、荒木・志田・高橋)は臥牛会ならびに水産学部創基 100 周年の一連の行事に参加するため、24 日早朝に東京を出発、鹿部温泉・吉の湯に一泊した。宿のお女将の吉さんの息子さんが、北水を 23 年 3 月卒業を目前にして死亡したというのも何かの因縁であったかもしれない。

名物の間欠泉公園で遊び、また大きくなったという漁港を見学後、大沼公園から北斗で函館入りした。

なつかしい街の風景を眺めながら、臥牛会会場のホテル函館ロイヤルにチェックイン、4 時受付開始、5 時よりカーネギーホールで総会に入る。長沢君の開会挨拶で始まり、同君(会長代理)かを議長に選出、まず物故者に対する黙祷のあと議題の審議に入る。また同君から会長宮崎一郎君は 5 月上旬ギックリ腰で緊急入院現在療養中で、本日は奥様だけの出席との説明があった。

ついで、

(1) 決算報告、監査報告が説明され、異議なく承認された。

(2) 次期開催について

各会員共 70 歳後半に入っているため、身体の不調者が多いことから会員の多い札幌を第一候補とするも、高齢参加者減を考慮して次期総会あたりで解散も検討してはの提案もあった。

また、今回札幌からの出席会員は大川・大滝君の二名のみだったため、持ち帰り在札会員とよく検討することとなった。

6 時総会終了、記念写真撮影後懇親会会場に移動する。

懇親会会場アカデミーホールに移り司会担当の菊田君から半ば強制的にカラオケ等の登録をさせられ野畠君の乾杯の辞で始まり、夫人連も二年目の健康再会で話題も特に弾んでいたようである。

演芸の目玉は、前回でもその名舞台が評価された日本舞踊の名取、市川君。和服、袴姿で槍・刀をもって颯爽と登場しての「黒田節」、アンコールに応えて「荒城の月」も披露し、喝采を浴びた。

カラオケで特によかったのは柏さん指導を受けたこともあるという日野君の「北国之春」。アンコールに応えて「星影のワルツ」も歌い大拍手、続いて田畠収君の指揮のもと逍遙歌の大合唱では最高潮になり、定刻を大幅にオーバーして熊本君の閉会の辞と乾杯で慄く懇親会の幕を閉じた。

翌 26 日はホテル前よりバスに乗車、15 年程前建設された湾岸道路(巴大橋)で函館港を左に眺めながら母校の記念式典に参加する。

式典終了後 100 m の高さに改装された五稜郭タワーの最上階から史跡五稜郭の全容を満喫し末広町の五島軒本店に向かう。

明治・大正建築の重厚な感じの室で、名物のカツカレーを堪能する。最高!!

さらに 100 周年記念講演と祝賀会場の函館国際ホテルに移動し、流れ解散となつた。

(後列左から)鈴木泰雄、日野輝夫、田畠収、熊木義成、高橋大、大川昭三、荒木道雄、真壁賢治、藤本俊彦 (中列左から)菊田薰、佐藤裕、市川勲、大滝豊太郎、野畠順二、鈴木尚義、志田恵穂、宮崎昭雄、長沢正徳、新井義昭 (前列



北大水産学部 臥牛会 懇親会

平成 19 年 5 月 25 日  
於 ホテル函館ロイヤル

左から)志田夫人、高橋夫人、荒木夫人、熊木夫人、宮崎一郎夫人、田畠夫人、日野夫人、長沢夫人

<追記> 創基 100 周年の行事に参加して

◇ ドクタークラークの着任早々の言葉に LOFTY AMBITION の言葉があり、BOYS BE AMBITIOUS と対応しているとのことを不覚ながら知らなかつた。日中韓三国の碑文、碑石、土台石は、戦前からあつた水産学研究者の友好の言葉として長く後輩達への励ましの言葉となるだろう。

◇ 講演者の田中光常さんの写真集「動物に愛をこめて」の出版祝賀会(昭和 55 年 10 月 25 日東出版発行、18,000 円)には田中氏の下宿先の子息近藤君(函館市中一期生)水産社の岡本信男先輩らと一緒に私も出席している。動物園協会の古賀忠道さん、山岳小説家の戸川幸夫さん、参議院議員だった中山千夏さんの祝辞があつた。私の愛蔵本の一つである。このことを話して写真展の案内にサインして貰う。

◇ 祝宴の最中に、南極に一万年眠っていたという氷のカケラの入ったグラスが廻ってくる。これを顔なじみの臼田氏(昭 23 セ)や松本氏(昭和 23 ギ)らに注いで廻ったが、臼田氏から「24 のセイゾウはやるね!」の賛辞を戴く。この一言を臥牛会全員にいただいたものとして受け止めたい。

## 【北水同窓会釧路支部 平成19年度総会】 支部長 清水富士雄（36遠）

平成19年10月5日（金）釧路市交流プラザ「さいわい」において支部会員21名の出席により開催されました。本年度は役員改選の年に当りましたが、長年にわたり務めていただいた山代支部長（25増）の議事進行の下に18年度事業報告及び決算報告が承認され、新役員が改選されました（下記）。懇親会に入り、全員のスピーチを頂き、思い出話や近況報告などに親子以上も年齢の離れた全員が聞き入り飲み笑い、釧路名産の水産加工品を景品とした恒例の空クジ無しのbingoゲームに興じている間に時は過ぎて行きました。



互いに肩を組み「逍遙歌」と「都ぞ弥生」を年に一度の高歌放吟により次回の再会を約し解散となりました。

＜新役員＞ 支部長 清水富士雄（36遠）／副支部長 穂積明（47漁）／副支部長 藤田正一（48食）／幹事長 高石英朗（52漁）

前列左から 浅野(39製) 菅(37増) 柴田(34漁) 山代(25増) 清水(36遠) 嶋田(38漁)

中列左から 針生(49増) 藤田(48食) 北川(49漁) 工藤(54漁) 中村(47増) 佐藤(50漁) 佐々木(H4増)

後列左から 佐藤(H10食) 北口(48増) 菅原(51漁) 野崎(56増) 池津(56増) 松永(58増) 安永(H5漁)

## 【昭和40年製造学科卒同期会開催】 木村 昇(40セ)

卒業以来42年ぶりに、さる11月11日（日）、霧雨に煙る紅葉のきれいな“ホテルKKRはこだて”にて行われた。斜里、札幌、八戸、東京、京都八幡、九州都城ほか各地から、連絡のついた50名のうち計28名の参加があった。

懇親会では若くして他界された大沢、河合、藤井3氏への黙祷をしたのち会食に入った。会ったときは名前を言い当てられなかつた人達も多くいたが、話をしていくうちに学生の頃へと戻つたようだ。九州都城の焼酎と地元厚沢部の焼酎の飲み比べや、各自の近況のスピーチがあり、都ぞ弥生、水産放浪歌を斎唱して2次会へと移つた。

翌朝は大学を訪問した。玄関でたまたま出勤された原学部長とお会いし、100周年記念の苦労話や様変わりした学内の事情を聞かせて頂いた。見学には24名（うち大野氏の奥様同行）参加し、最初に旧資料館に入った。昔、玄関に置かれていたトドの剥製の大きさにあらためて驚いたり、啓徳寮の看板を見つけた寮生は懐かしさをあらわしていた。又、資料館向かいの旧北洋研究館（中部謙吉寄贈）には海洋科化学講座が一時在居していた由。次いで、昔から現存する講堂では、実に卒業式以来だなあ!!と、これまた感慨にひたつた。さらに、旧製造実習工場では佐伯先生より、いろいろと詳しくご説明を受けた。今でもサケ缶詰製造を実習されるとのこと。研究棟では4F、3Fをまわり、旧第一、微生、生化、食製、第二、魚油、高分子、海化の各講座に関連する先生方のうち、高橋、澤辺、今野、川合、板橋、戸屋各先生にお会い出来た。諸先生、学生さん、事務の方々のご配慮を頂き、感謝申し上げます。そののち、食堂で昼食（年齢のせいか、ソバ類の注文が多かつた）をし、2年後に会うことを約束し、散会した。

出席者は、秋村、浅井、有岡、大野、加藤（善）、金沢、金子、金曾、木村、久保田、小飼、三枝、作田、笹木、高田、竹内、谷本、長土居、畠田、藤沢、本間、政二、水越、山内、山本、横山、渡辺（一）、渡辺（俊）。

## 【昭和41年度卒同期会開催(第56期)】 布施 英憲(41ゾ)

昨年の5月26日～27日に北大水産学部創基100周年記念事業が函館の地に於いて開催された。この機会に第5回目の同期会を湯の川温泉ホテル平成館海羊亭で開催した。昭和41年3月卒業で、奇しくも今年は卒業後41年の歳月が流れたことになる。今回は全国各地から、南は鹿児島の地からは林征一御夫妻が、そして北は旭川の八幡剛浩氏と53名の懐かしい同期生が参集した。ちなみに、昭和41年度の卒業生は153名で、物故者8名、住所の不明な者26名を除き120名に案内をした所、約4割の同期生の参加があり、その内訳は製造21名、増殖15名、漁業7名、そして遠洋6名で、今回は夫婦での参加が初めてあり、林征一夫妻、源宣之夫妻、山本桂夫妻でした。

懇親会では53名の参加者が各自自由に席を取り、亡き8名の同期生の冥福を祈り黙祷のあと、幹事長の布施と函館の幹事を代表して函館短期大学の学長の上平幸好氏から夫々開会の挨拶があり、軽妙な司会、千葉泰樹君の音頭で宴が始まった。大学卒業後、41年ぶりで初めて再会する顔も多く、41年前の昔の学生時代の自分に、あのH.G.ウェルズの『タイム・マシン』に乗ってタイムスリップしたかの如く、懐かしい往時の思い出話を心行くまで語り合い、旧交を深めました。今回も又、旗手氏がこの同期会のため懐かしい資料を持参し全員に配布してくれ、宴を一層盛り上げてくれました。其の中には、授業料の領収証書(¥4500)や北辰寮食券(1日3食100円)などがあり、懐かしいと同時に旗手氏の保存、整理魔には全く驚嘆させられました。かくして3時間近い和やかで、楽しい宴もあっと言う間に過ぎ、一次会は北辰寮逍遙歌を放歌高吟して終え、旅館内の別室での二次会に移り、今度は渡邊準氏の司会でカラオケも披露され、さらに一層宴は盛り上がりました。



北海道大学水産学部 昭和41年卒業生同期会

H.41.5.25  
地：平成館 海羊亭

最後になりましたが、函館の幹事であった猪上氏と上平氏には非常にお世話になったことを報告し、お礼に代えます。次回は、東京での開催を望む声が上がっておりましたが、参加者が5割を超えることを目指して、今回参加出来なかった諸君にも次回の参加を呼びかけつつ報告を終わります。

## 【寿洋会(新制遠漁二期)京都に集る】 加賀屋 昌治(24工)

恒例の寿洋会が今年は京都嵐山渡月亭に場所を移し、9月18日盛大に行うと張切っておりましたが、今回は体調不良、御家庭の都合 etc と欠席者が続出し、関東勢6名の淋しい会になりました。

我々は終戦直後の昭21年日本の渾沌期に入學し、小生を含め、所持、菊地、高橋君の4名が中4修早生れの最高年齢と、復員、復学の諸氏を集め45名、年齢差も6～7年と多工育との様でほんとうに小父さんみたいな人も居た?と思われましたが、私共が喜寿、平均年齢も傘寿を越しているわけで、生存者25名昨年度迄は12～13人集まって居たのですが、今回6名も止むを得ないと痛感しました。

それでも食料不足の北辰寮時代の昔話に花が咲き、アルコールは程々にして、食後は桂川の岸辺を散策、嵐山の有景を眺め、価千金の一刻を過ごしました。

而して最後は御互いの体調の事に話題は終始し、来年は故郷函館に帰って幕引きをやろう等と話し合いました。

翌朝は広大寺、苔寺、太秦撮影所と夫々別れ、午後2時頃京都を後に帰京しました。

嵐山・渡月亭にて  
(前列左より)松浦、高橋、(後列左より)菊地、渡辺(静)加賀屋、安井



## 【卒業 50 周年記念「北水三十一会（みそひとかい）」を開催】 萩野 喜夫（31ゾ）

折りしも、母校（水産学部）は創基 100 周年。その記念行事の日を前に、私達昭和 31 年卒同期会は 5 月 15 ~ 16 日に亘って開催された。隔年に開催されているこの集いも、平成 5 年の第 1 回・函館から数えると、札幌、熱海、北陸、九州、山形、函館と続き、今回で 8 回の歴史を刻む。私の計算ではご夫人方も含めて、平均 37 名程の参加者があった。この全ての会に参加された方は 10 名に及ぶ。心腹之友、お互いの結びつきの表れだろうか。

今回、幹事の周到な検討の結果、選ばれた場所は横須賀・観音崎。三浦半島の東端、浦賀水道に突出した岬。首都防衛の要衝であった当地付近には、かつて海堡が築かれていたと言う。我が国最初の洋式灯台（1869 年設置）が近くにある白亜の瀟洒なホテルが会場で、眼下に海を臨む大きな窓の部屋には、大型船が浦賀水道を通行する時刻案内や双眼鏡が備えてあり、以前はこの水道を船長として常時航行していた同期の方も居り、50 周年に相応しい。

別棟の浴場には、三浦沖海洋深層水を張った大露天風呂もあり、旧友と語りながら、思い切り体を伸ばして浸っていると、実年齢より遥かに若返って来るようだ。白昼しかも好天の中、対岸の房総・富津岬や水道を行き来する船を漠然と眺めているだけで、平和で限りなく安穏になった自分がただ至福である。

さて、本題の宴である。最寄りの馬堀海岸駅で地元の生駒祐章君に迎えられ、北から南から集まつた面々は 31 名。更に同伴のご夫人方が今迄で最高の 10 名。合計 41 名が、やや上気して宴会場へ。集合写真撮影の後、分散して円卓に適宜おさまって開会。大谷明男君の歯切れのいい司会で進行。冒頭、晨星落落、今回も残念ながら鬼籍に入られた方があり、今は生き方々に衷心より黙祷を捧げた。次いで幹事代表の吉野秀男君から私達世代の軍国幼少年時代、戦後の混乱期を含めて、卒後 50 年間の真摯の生き様を総括された挨拶の後、最も遠方の北見から参加の須田弘一君の音頭で乾杯。以後次第に勢いがついて座は活発になり、順番に個々のスピーチに入る。其々思い出話や現在の生活振りが話の中心だが、現在も率先垂範、現役で活躍している方から、行雲流水日々気の赴くままに悠々たる方まで、個性豊かなスピーチは 50 年で身につけ、ますます重厚さを増した風格を添えて、以前のそれとは一味違った存在感でアピールされた。更に、ご夫人方のスピーチも頂戴したが、こちらはやはり華やかであった。新鮮な驚きもあり、又励まさ



れる話もあり感銘を受けた。まさに多士済々、人は何時までも成長進歩するものだと、改めて感じ入った次第。今回も、加藤雅夫君は往時の写真を詩情豊かにアルバムに編集して回覧、若き日の私達に逢わせてくれた。大園雍彦君は、テーブルの間を走り回り、動画の撮影に専念してくれた。何とその映像をごく短時間に、当日の映像に欠席者や亡くなった人達の写真やコメントも入れ、BGMまで入った立派なDVDに仕上げ、後日全員に送り届けてくれた。その編集の技術と早業と熱意にひたすら感謝し、回顧の逸品として座右に置き、あの日の楽しさと懐かしさを反復させてくれるだろう。

やがて、宴たけなわとなり、何時もの通り「都ぞ弥生」と「逍遙歌」声を限りに叫ぶ。

次回、2009 年は懐かしき地、札幌と決まり、代表幹事を自認する竹田正之君から決意表明があった。その後の二次会は、当然のことながら深夜に及ぶ。幹事の計らいで、二日目の午前中も同ホテルに歓談の場を設けられ、旧交が続いた。誠に心地良き二日間と幹事に感謝しつつ、再会を約束し卒業 50 周年記念の同期会は終わった。

（後列左から）ギ勝木、ギ宮武、セ羽田野、ゾ吉田、ゾ藤田、工吉野、工安倍川、セ入江、工生駒、工小野、ゾ萩野、ギ秦、ゾ箕田、セ加藤、工石丸、ギ中村、セ村上

（中列左から）工大谷、勝木夫人、細谷夫人、羽田野夫人、藤田夫人、須田夫人、庄司夫人、吉野夫人、安倍川夫人、生駒夫人、前田夫人、セ前田  
（前列左から）工米永、ゾ須田、工横田、工細谷、工柴田、工服部、工中島、セ竹田、セ大園、セ庄司（工片山昌郎、セ佐藤弘之は参加したが入っていない）

## 【第十四回上げ潮会(最終会)開催報告】伊勢 良一 (26教セ)

去る十月十日、函館湯の川温泉「花びしホテル」に於いて、表記のクラス会を開催しました。昭和二十三年春、当時の函館水産専門学校に入学した同級生らは、早や喜寿の祝いを迎え、紅顔の美少年の面影を僅かに残して二十二名が参集しました。内、奥様が六名。

卒業した同級生の三分の一が既に鬼門に入れられ、三分の一強が体調不良・療養中で、出席がかなわず、数の上では決して多いとは言えませんでしたが、在函の幹事等の奮闘・努力により、かつて無い程の盛り上がりを見せました。

ある奥様のスピーチ「主人は旅行好きですが、この上げ潮会の出席だけは、特別な思いで、最も楽しみにしておりました。私も同行しましたが、主人の上げ潮会参加の喜びは、当然の事と本当に良くわかりました」との事で、感動すると同時に、皆の奥様も同様な思いだと確信しました。

何事も「最終回」の文字が去来し、思い出を深く心に刻みました。最後の逍遙歌合唱はどうとうハンカチの世話になりました。

当日の日中、市内観光、母校訪問のセレモニーがありました。古い函館駅しか知らない私には、その駅舎、駅前広場などの変貌降りに、まるで知らない土地に降り立った思い。わずかに「函館駅」の文字だけが懐かしく迎えてくれました。

「変貌振り」と言えば、我が母校でした。同窓会誌「親潮」や「創基100年記念誌」で、建物の変わり方は承知していたつもりでしたが、いざ、現実を直視し、愕然としました。母校発展を祝すべきでしょうが、時代の流れに竿をさせない事實を知らされました。僅かに資料室に、玄関に置いてあったトドの剥製がガラスのケースに収まって、優しいまなざしで迎えてくれたような気がしたのは私だけだったでしょうか。

今回、不治の病を家族愛に助けられ、元気に参加できた者も居て、感動の多いクラス会でした。

上げ潮会はこれで終わっても、我々の絆は切れない、お互いに連絡し合って、健康を確かめ合いましょう、との幹事の最後の挨拶は大きな励みになりました。

## 【平成19年度北水同窓会京滋支部総会及び懇親会報告】北水同窓会京滋支部長 小林正昌 (39ゾ)

平成19年11月10日(土)17時よりJR京都駅八条口『ホテル京阪』の最上階「レストランオーパーク」にて開催しました。出席者は9名と少なかったのですが、これは開催日に不手際があった為でした。『全国豊かな海づくり大会』が天皇・皇后御臨席のもと琵琶湖で同日開催され、滋賀県庁、市役所などに勤務されている同窓生が出席できず、大変迷惑をかけ申し訳ないことをしました。

総会では平成18年度決算報告と平成19年度予算(中間)の報告をし、全員に承認していただきました。役員改選につきましては、支部長・幹事(2名)とも留任となりました。

さらに、学部創基100周年記念式典の報告をしました。

懇親会は、三輪先輩(30歳)の乾杯の音頭で始まり、近況報告等を交え、先輩、若手との暫しの歓談が弾み、親睦を深める事ができました。会の最後には三輪先輩の前口上から始まる『水産放浪歌』『水産逍遙歌』を歌い、『都ぞ弥生』を大合唱し、平成20年も元気な顔での再会を誓い、又若手、女性の参加を期待して散会しました。

## 【二五会函館の集い】廣崎 芳次 (25ゾ)

北大水産学部創基100年の記念式典が函館で開催されるので、2007年の集いを函館で催した。2007年5月26日に記念式典には有志が出席し、夜は湯の川観光ホテルで宿泊組の懇親会を、翌日は観光バスで北大水産学部、資料館、おしろ丸を訪ねたほかに、五稜郭タワーや函館山での景観を楽しんだ。

今回の集いについての世話役を一手に引き受けてくれた佐々木建さんの令夫人亡徳子さんの菩提寺の高竜寺にも予定外のことではあったが訪れ、岸本不二夫さんが舍利禮文を読経し、いつも参加されておられた徳子さんることを偲び一同でご冥福を祈った。

27日17時30分から函館在住者も多数参加して五島軒本店で時のたつも忘れた楽しい宵を過ごした。

参加者は岸本不二夫、寿子。小林哲夫、智枝子。山代昭三、敏子。高杉勉、しま。草沢庄一、あさこ。廣崎芳次、ハ重子。鈴木政雄、英子。佐々木建。唐沢康。出雲政志。坂本茂。鈴木愛子。山平淳。井田孝。上河睦美の22名であった。2008年は東京で開催予定。

# 「有朋自遠方來不亦樂乎」

平成19年7月～平成20年1月、研究室を訪問された方々（敬称略）

## 海洋生物工学分野（旧水産高分子化学）

横本敬紀（59化）9/10, 藤本和宏（14資）9/19, 鈴木潜（17資）9/29, 千葉智（H1化）10/12, 1/24, 中谷友衣子（17資）11/24

## 海洋生物工学分野（旧微生物学）

三宅絵里（H17海）7, 11月, 永井元視（H19海）11月, 武田恵理子（H16海）11月, 鶴谷安弘（H19海）11月, 上平達也（H19応生）12月, 田中礼士（H10食）9月

## 育種生物学分野（旧水産植物学）

小川真吾（H12生）8/3, 工藤周子（H15生）8/3, 徳島悠木（H14生）8/3, 瀧谷明郎（H6ゾ）9/26, 二村和視（H10ゾ）9/26, 宮田昌彦（60博増）9/26, 齊藤亜子（H15生）, 荒金利佳し（H5ゾ）7/, 石野健吾（52ゾ）9/26, 村松俊輔（H19生）7/15, 9/28, 高橋誠（55食）8月, 10月, 一木重夫（H8ゾ）7/30

## 生物資源利用学分野（旧食品化学第一）

亀山喜明（63食）7/30, 8/10, 香川吉央（H17資）8/17, 和根崎智（H9食）11/7, 鈴木孝太郎（H14資）11/21, 江木衷（59食）6月, 12月, 木村稔（61食）1/18

## 海洋生態学系保全戦略

高橋清孝（49ゾ）9/25, 河村博（48ゾ）9/23, 24, 今井尚隆（H17海）9/22

## 海洋生物資源科学部門（旧浮遊生物学、プランクトン）

大森信（35ゾ）7/9, 清水絵里（H10ゾ）7/25, 河村章人（37ゾ）7/30, 8/29, 藤熙（特）8/3, 佐野史和（H15海）8/8, 山田奈央（H16海）8/20, 平川和正（48ゾ）8/25, 水上碧（H18海）8/27, 青野哲大（H9ゾ）8/29, 田村力（H4ゾ）9/26, 望月万美子（H10ゾ）9/26, 内川和久（H4ゾ）9/26, 谷口和也（42ゾ）9/27, 佐々木達（44ゾ）9/27, 嶋田宏（H3ゾ）9/28, 宮崎和貴（H10ゾ）10/1, 赤池章一（59ゾ）10/5, 中田薰（56ゾ）10/11, 上平幸好（41ゾ）10/25, 西部裕一郎（H17博生）12/6, 山田雄一郎（H9ゾ）12/9

## 資源生物学分野（旧漁場学）

松浦哲平（H17生）11/30

## 会費納入のお願い！

ご存知のように北水同窓会の会誌発行やその他の業務は全て皆様の会費によって成り立っております。

会費納入をお忘れの方は、同封の郵便振替用紙をご利用ください。また、周りに同窓生の方がいらっしゃいましたら、ぜひお声をかけていただければ幸いです。

昨年末に 平成19年度版 北水同窓会会員名簿が発行されました。会員名簿は年会費を納入された方に無料で配布しております。

### 北水同窓会編集部より

昨年は、北水100周年記念式典も開催されたこともあり、多くの同窓生の皆様から投稿をいただきました。この場を借りて、御礼申し上げます。そのため、紙面の不足により、このような形で別冊号として皆様にお届けすることになりましたことを最後に申し添えるとともに会員皆様の今後のさらなるご活躍を祈念いたします。

編集幹事 都木靖彰

### 北水同窓会

〒041-8611  
北海道函館市港町3-1-1  
E-mail: hokusui@hotweb.or.jp  
HP: <http://hokusui.fish.hokudai.ac.jp/>